



2025 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 日 鉄 鉱 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 森 川 玲 一
(コード番号 1515 東証プライム市場)
問合せ先 総 務 課 長 山 田 拓 朗
(TEL 03-3284-0516)

株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正 及び株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正及び株主還元方針の変更について下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の方法

2025 年 9 月 30 日（火）を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式 1 株につき、5 株の割合をもって分割いたします。

(3) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	16,704,638 株
② 今回の分割により増加する株式数	66,818,552 株
③ 株式分割後の発行済株式総数	83,523,190 株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	200,000,000 株

(4) 分割の日程

基準日公告日	2025 年 9 月 12 日（金）（予定）
基 準 日	2025 年 9 月 30 日（火）
効力発生日	2025 年 10 月 1 日（水）

(5) その他

株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

2. 株式分割に伴う定款の一部変更について

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第 184 条第 2 項の規定に基づき、2025 年 10 月 1 日(水)を効力発生日として、当社定款第 6 条に定める発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変 更 後
(発行可能株式総数) 第 6 条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>40,000,000</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第 6 条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>200,000,000</u> 株とする。

(3) 変更の日程

取締役会決議日 2025 年 8 月 29 日 (金)
効 力 発 生 日 2025 年 10 月 1 日 (水)

3. 配当予想の修正について

株式分割に伴い、2025 年 8 月 6 日付で公表いたしました「2026 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の 2026 年 3 月期の期末配当予想額を以下のとおり修正いたします。なお、今回の配当予想の修正は、2025 年 8 月 6 日付で公表した 1 株当たりの配当予想から実質的な修正はありません。

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2025 年 8 月 6 日公表)	91 円 00 銭	92 円 00 銭	183 円 00 銭
今回修正予想 (株式分割前換算)	91 円 00 銭	18 円 40 銭 (92 円 00 銭)	— (183 円 00 銭)
当期実績	—	—	—
前期実績 (2025 年 3 月期)	90 円 00 銭	134 円 00 銭	224 円 00 銭

(注1) 今回の株式分割は、2025年10月1日を効力発生日としておりますので、基準日を2025年9月30日とする2026年3月期の間配当につきましては、株式分割前の株式数が対象となります。

(注2) 合計の1株当たり配当金予想につきましては、株式分割の実施により単純比較ができないため表示しておりません。

4. 株主還元方針の変更について

株式分割に伴い、株主還元方針を以下のとおり変更いたします。当該変更は株式分割の実施により調整を行うものであり、従来の方針から実質的な変更はありません。

変更後の方針は、株式分割後の株式が対象となる2026年3月期の期末配当金より適用いたします。

なお、2026年3月期の年間配当金合計につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算定したうえで、配当下限値と比較いたします。

(下線は変更部分を示します。)

現行方針	変 更 後
連結配当性向40%を目途に配当を実施するものとし、また、配当下限値を1株当たり <u>170</u> 円とし、いずれか高い方を採用する。	連結配当性向40%を目途に配当を実施するものとし、また、配当下限値を1株当たり <u>34</u> 円とし、いずれか高い方を採用する。

以 上